

# チャレンジ支援委員会 「発表応募支援セミナー」報告書

チャレンジ支援委員：佐藤、嶋、鈴木、藤田、三代

2020/01/25 13:00-16:00 学び舎遊人

## 「毎日の実践は宝の山！-現場の課題を発表（研究）につなげるタネ探し-」

いつもは支部集会にお邪魔して開催している発表応募支援セミナーですが、今回のセミナーは、チャレンジ支援委員会の単独開催となりました。「毎日の実践は宝の山！-現場の課題を発表（研究）につなげるタネ探し-」というキャッチフレーズで、これまでご自身の実践を発表したことがない方を対象に、実践のアイデアを整理し発表につなげるためにはどうしたらいいのかを考えようという企画です。



当日は、14名の方にご参加いただきました。今回のセミナーは3部構成で、第1部はグループで各自の実践を紹介し抱えている問題や課題について話すという活動。続く第二部では、日本学生支援機構東京日本語教育センターの平山允子氏と、チャレンジ支援委員のメンバーでもある山野美容芸術短期大学の佐藤正則氏を講師にお迎えし、お二人が自分の実践をどのように発表につなげたのか、そのときの

状況や準備、その時の心情などについてお話いただきました。お二人の体験談はこれから第一歩を踏み出そうとしている参加者の皆さんにとってとても勇気づけられるものであり、中でも平山氏の「たとえ発表を失敗したとしても、失うものは何もなく、学べることしかない！」という言葉、40代半ばで初めて研究発表をしたという佐藤氏の「発表は何歳からでもできる！」という言葉が胸に響きました。その後の第3部では、講師の先生方やチャレンジ支援委員も交えて、再度グループで各自の実践をどのように発表につなげられるのかについてディスカッションを行いました。

最後の振り返りでは、「自分の実践を記録し振り返ることからスタートしてみる」という方や、「自分の実践のアイデアを人と共有する楽しさを知った」という方、さらには「発表応募します！」と

宣言してくださる参加者もいっしょに、私たちチャレンジ支援委員も勇気づけられました。セミナー終了後のアンケートも参加者の方の満足度が高かったです。ご参加いただきました方々、講師の先生方、本当にありがとうございました。



(文責：嶋)